
俺が墓穴を掘った日

志信

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺が墓穴を掘った日

【Nコード】

N5532A

【作者名】

志信

【あらすじ】

午前授業の終わった昼下がりのことである。テレビを眺める弟の横で、俺は新聞を読もうとしていた。

その日は高校も中学も午前授業だった。何やら県内の教師の集まりがあるらしい。

俺も弟も早々と下校のち帰宅、惰性で居間のテレビに向かっていた。

そろそろ必要性の薄れてきたコタツに足を突っ込んでトークショーを眺めつつ

昼食であるカップ麺の残り汁をすすっていた弟。

だらけた様子を横目に見やり、俺はどつかとソファに腰かけて新聞を開いた。

目的は四コマ漫画の読破、および今夜のテレビ番組の放送予定を知ることにある。

「お……」

四つに折り畳まれた灰色の紙束から色とりどりの広告を抜き去るとその一番外側が中古ゲームショップの広告であることに気がついた。近所にもチェーン店舗がある。

俺はとりあえず新聞を脇に置き、いそいそと広告を読み進める。買い取って欲しいゲームソフトが溜まっていた。

買い取りの値段はカラー印刷の表面ではなく、青の単色で刷られた裏面に記載されている。

いやに光沢のない紙に目を通すと、その中の一文が俺の目を釘付けにした。

そこに書かれたゲームのタイトルが、この店にはおよそ似つかわしくないものに思えたのだ。

「何だこりゃ、何で１８禁のエロゲーを高価買い取りしてるんだよ」とすると弟が、俺と視線を合わそうともせずにつぶやく

「何で１８禁のエロゲーのタイトルなんて知ってるんだよ、兄貴」

弟はまるで興味なさそうにテレビを観続けている。
何も言わないのが最も被害の少ない選択だと判断した俺は
そそくさと二階に引き上げた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5532a/>

俺が墓穴を掘った日

2010年10月31日01時14分発行